

手軽で効率的な年金記録の確認のあり方について

～ねんきん定期便・ねんきんネット・年金通帳等に関する検討会報告書(概要)～



国民の声 (アンケート結果等)

①行政が主体となった記録確認や国民への情報提供の推進

・「可能な限り行政が記録の確認等を行い、加入者に負担をかけない仕組みにすべき」・・・64%

②いつでもどこでも手軽に最新の年金記録を確認できる仕組みの充実(インターネットの活用推進)

・「知りたいときに自分の記録を確認できる仕組みが必要」・・・90%
 ・「ねんきんネットを利用したい」・・・61%
 ・「ねんきんネット等の仕組みを充実させていくべき」・・・53%

③低コストで効率的なサービスの推進

・「ねんきんネット等の今の仕組みを充実させていくべき」・・・53%

(※)

・「年金通帳という新しい仕組みをつくるべき」・・・22%

具体策

ねんきん定期便

- わかりやすい「圧着葉書」形式への変更
- 送付頻度については、当面、毎年送付としつつ、必要な検討がなされるべき
- 電子版の利用促進を図るべき



ねんきんネット

- メディア等を通じた周知と併せて個々人に直接利用を呼びかける取組みを行うべき
- インターネットを利用できない方のための方策を充実すべき(郵便局の窓口の拡大等)



年金通帳

- 「e-年金通帳」(仮称)の仕組みを構築すべき
- インターネットを利用できない方のために、市町村や郵便局の窓口での印刷交付サービスや、コールセンターによる印刷郵送サービスを一層推進すべき
- 印刷したものをファイル等に綴ったり、挟めるようにするなど保管性を考慮した措置を講じるべき



いつでも手軽に記録を確認できる効率的な仕組みの実現